



春を走るChallengerたちへ

ごあいさつ

ようこそ、国際ことば学院日本語学校へ。

はじめまして。4月からこの学校の校長になりました野田敏郎（のだとしろう）と申します。みなさんは日本にきたばかりで、何が何やらちんぷんかんぷん。そして、自分がこれからしなければならないことが今はまだよくわかっていないかもしれません。私も校長になったばかりで、みなさんと同じような状態です。

ところで、みなさんは、今までの自分を変えたい、^{しあわ}幸せになりたい、と願って日本にきたのだと思います。そんなみなさんに「おせっ会」^{かい}代表からちょっとアドバイスをしておきます。

1つめ。約束の時間を守りましょう。みなさんは日本に来るまで、時間を守ることを大切に考えていなかったかもしれません。これからはそれを変えてみませんか。時間は信用^{しんよう}を生むものです。そして、信用はゆたかさにつながるのです。みなさんが幸せになるために何より大切なのはこの信用なのです。人は一人では何もできません。どんなに日本語が上手になっても、他人との信頼関係がなかったら思うようにならないでしょう。

2つめ。人と話しましょう。みなさんはことば学院の教室で日本語を練習し、習った言葉をどこで使っていますか。もし話す相手がいなかったら、日記でも手紙でもいい。とにかく使ってみましょう。そして相手に確かめてもらいましょう。失敗したら、こんどこそ上手に正しく伝えられるように、教室でまた練習しましょう。相手に自分のことをきちんと伝えることができれば、きっと新しい関係が生まれるでしょう。

3つめ。社会と自分のつながりを考えましょう。世界の動きはとてもはやい。どんどん変化していきます。だから、世界で何が起きているのかをいつも知っておくといいでしょう。

「小学生の65%が今は存在していない職業につく」と言われています。みなさんがことば学院を出て、進学し、帰国するころ（2020年ごろ？）、どんな社会になっていて、どんな新しい仕事があるのでしょうか。そう考えてみたら、わくわくしますね。

外国での生活は慣れないことだらけで大変でしょう。今までと違って、大きく変わるからこそ「大変」なのです。それはあたりまえのことです。自分を大きく変えるためのせつかくのチャンスです。みなさんは、^{Challenger}挑戦者。私たちが応援します。

校長 野田敏郎



平成27年度 卒業式が行われました！

3月10日（木）、グランシップにおいて、平成27年度国際ことば学院日本語学校卒業式が行われました。卒業式当日の天気予報はずっと「雨」。せっかくの卒業式なのに…と残念に思っていたのですが、当日は雨もあがり、卒業生を送り出すことができました。卒業とは今までの学校生活が終わることであり、同時に新しい環境での生活が始まることを意味しています。これからの生活に対する学生達の不安な気持ちが雨となって降り、不安な気持ちが流れた後に卒業式を迎えることができたのだと思っています。

平日にも関わらず多くのお客様にお越しいただき、また担任の先生からの温かいコメントとともに卒業証書を受け取った卒業生たちは、輝くような笑顔で巣立っていきました。卒業生110名のさらなる成長と活躍をお祈りしています。（井戸端）



ことば奨学会から表彰されました！よく頑張りました、おめでとう！



クラスごと壇上に上がり担任から名前を呼ばれ、一人ずつ証書と花を受け取りました！



会場のみなどで「花は咲く」を歌いました。一体感がうまれました。



1年生も式に出席し、卒業生のために歌をうたいました。



理事長が開会の辞をのべられました。

無事、卒業式を迎えられた110名の卒業生。



在校生代表としてLクラスのピントウさんが話してくれました。

卒業生代表メッセージ

A クラス ネイチャー ティン ウィン

私は 2014 年 4 月に日本に来ました。日本に来た最初の日には雨が激しく降り、風も強く吹いていました。日本の第一印象は、来日前、写真やテレビで見っていたものと少し違いました。私は空港まで迎えに来てくれた車に乗り、その車の中から周囲のお茶畑などを眺め、そして静岡に着きました。翌日は天気も良くなり、富士山がくっきり見えました。自分の目で初めて見た富士山でした。桜も咲いていて、雨上がりの青空は本当にきれいでした。



あの日から 2 年の月日が経ち、今日、卒業の日を迎えました。そうです。親と離れて見知らぬ国で一人で生活するのは簡単ではありませんでした。この 2 年間で、私が得たものもあれば、その一方で失ったものもありました。来日してわずか 7 カ月、国の父が亡くなりました。私は「これ以上留学を続けるのは無理。もうやめよう」と考えたこともあります。でも私は留学生活を続けました。私は先生たちに「ネイチャーさんは強がりだね」とよく言われています。それは違います。私は強がりながら、本当に強くなってきたのかもしれませんが。私は悩むことがあるたびに、「今日は雨の日。でもこの雨もいつかやんですっきり晴れる日がきっと来るから」と自分を励まし、元気を出してきました。

この 2 年間で、私たちが学んだものは、日本語だけでなく、日本の文化、習慣、それに人との接し方はいかに大事かということも学びました。頭を柔軟にして、いろいろな国の人と友達になってきました。将来、国際関係の仕事を目指す私にとって、この学校はまさに国境のない小さなグローバルコミュニティの実験室のようでした。

2 年生になった初めての日、私たちは「来年の桜が咲く頃には」というタイトルで作文を書きました。私はそこに「来年の桜が咲く頃、私は桜が満開の大学の道を歩いているだろう」と書きました。今、文字通りその夢は実現します。卒業生のみんなも、今、自分の将来へ向けて歩き始めました。

私たちは今日を限りに、羽を広げてここから広い空へ飛び立ちます。「別れ」があれば、「出会い」もあります。今日は、私たちの「別れの日」というより、また「会う日」のために約束をする日だと思います。そう、今よりもっと大きな人間になって会える日のために。

お世話になった先生方、今、心の底から感謝しています。同級生のみんな、友だち、私の人生を満たしてくれて、ありがとう。

一昨年の10月、私は友達と二人で来日しました。その年のインドネシアの10月生は私たち二人だけでした。残念ですが、彼は昨年の9月に帰国してしまったのでこの卒業式と一緒にできませんでした。さて、来日したときは、日本での生活がまるで想像できず、怖いと思いました。とても心配でした。留学する前は日本に行く目的はもう決まっていたので心配なことはなかったはずなのに、いざ、来てみるとやはり不安な気持ちになりました。そのうちに日本語学校での生活が始まりました。色々な国の友達ができて、うれしくなり、少しずつ毎日が楽しくなってきました。色々な友達から色々な学びができました。日ごとに心配したことが無駄な時間だったと思うようになりました。



一年生の皆さんも将来のことを心配していますか。私もそうでしたが、今は心配することはあまりありません。どうしてかというと、私は自分の努力を信じているからです。皆さん自分に自信を持っていますか。成功できるかできないかは自分の努力次第だと思います。諦めないで、自信を持って、続けていれば夢は叶うからです。成功した人は時間を真面目に過ごした人です。私はそうと思っています。そんなに簡単ではないとは分かりますが、私たちの将来は今日やったことをもとに決まってくるので毎日大切に時間をすごしてください。今日が過去のことになる前に、後悔する前に、今日は最後の日、最後のチャンスの時だと思ってすごすのです。明日はまだ生きているか分からないでしょう。時間は取り戻せないものですから、毎日皆さんの力の限り、皆さんの人生に何か価値のあることを頑張ってやるべきです。

人生の色々なことで疲れている場合は愛する人たちのことを思い出してください。例えば家族です。アラビアのアリビンアブタリブという人がこんなことわざを紹介してくれています。英語に訳していいいますと、**"family is your wings to fly, your home to come back, and your hands to reach your dreams"**「家族は、皆さんの翼として世界に飛び出すため、帰る居場所を整えるため、夢に到達するために手を差し伸べて支えてくれる」という意味です。そして、私の命に力を与えてくれました。家族と離れていても私は一人ではないという意味です。家族は、インドネシアにいる私の肉親だけでなく、ここ日本にも、家族のように親しくなった友達や、先生方、支援者の方々がいらっしゃいます。私はこのような人たちにも支えられています。そして、私もまた家族のだれかの翼になれるように努めるのです。

そして、皆さんの人生がより豊かなものになるようにと心から祈っています。今日、私たちはここから飛び立って行きます。私を支えてくれる強い翼で、力強く飛んで行こうと思います。このような卒業の日を迎えることができ、本当にうれしいです。皆さんありがとうございました。そして、さようなら。

表彰

ことば奨学会より、各賞が授与されました。
ご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。



学習奨励賞（日本語能力試験 N1 合格） 計 4 名

VO GIA BAO	MAY THET PE
NAY CHI TIN WIN	宋 剣東

学習奨励賞（日本語能力試験 N2 合格） 計 24 名

MUNTYA AYUDYA	NGUYEN PHUOC THINH	VO GIA BAO
MAY THET PE	TRAN QUOC PHUONG	SANDI PERMANA
HAMZAH	RAMDA YUNNI	LE NGOC LONG
SU SU HLAING	SOE THU HEIN	WIN HTWE
PHYO MIN	WINDIWIDIA OKTAVIYENI	TRAN NGUYEN BAO UYEN
李 采蓉	KHAING HTET	HO THI HAU
TRAN VAN HIEU	KARKI SURYA BAHADUR	LIA KUSUMA WARDHANI
AYU FIRDAUSI NUZULA	VU HUYNH SON	NGUYEN HOANG PHI

他、1 年生 9 名

精勤賞（出席日率 100%、時率 99%以上） 計 10 名

MUNTYA AYUDYA	VO GIA BAO	TRAN QUOC PHUONG
SANDI PERMANA	HUYNH THI NGAN	HUYNH KIM BINH NGUYEN
G.C SANDIP	VU HUYNH SON	JALAL UDDIN RUMI
TRAN VAN HIET		

漢字検定名人合格者 計 17 名

NGUYEN PHUOC THINH	VO GIA BAO	MAY THET PE
NAY CHI TIN WIN	TRAN QUOC PHUONG	NGUYEN NGOC MINH
TRAN HA THAO LY	HUYNH THI NGAN	HUYNH KIM BINH NGUYEN
SU SU HLAING	WIN HTWE	WINDI WIDIA OKTAVIYENI
李 采蓉	HO THI HAU	LAM MY TIE
LE THI BAO THU	ZIN MIN YU	

国際交流貢献賞 計 3 名

MUNTYA AYUDYA	JULIA PRATIWI	NURUL JAHIDAH
---------------	---------------	---------------



第60回 静岡まつりに参加しました



外国人歌舞伎

今年度も静岡祭り大演舞場にて、外国人歌舞伎「白波五人男」をご披露させていただきました。悪天候が懸念されていましたが、何とか持ちこたえ、大勢のお客様にお越しいただきました。今年度の学生たちはセリフを覚えるのも非常に速く、その分、歩き方や目線など、細かな動きの指導まですることができ、そのおかげで、本番では少々うまくいかないところもありましたが、それを補って余りある堂々とした立ち振る舞いで、観客の皆様を楽しんでいただくことができたのではないかと考えております。(佐藤)

4月4日(月) 静岡新聞の朝刊に本校の学生が演じた「白波五人男」が掲載されました!!



鋭い眼差しがとてもかっこいいです!



大御所花見行列



静岡校、富士校二日間で計 32 名の学生が参加しました。日本人でも身につける機会の少ない着物を着てみんなご満悦。桜の下での記念写真はいつまでも終ることがありませんでした。ただ慣れない着物で市内を一周するのはかなり大変で、全行程を歩き終わり解散の際に数名の学生が靴をはくのも忘れて帰ろうとしたほどです。それでも「今日は特別な一日になりました」と言ってくれた学生がいたこと、また静岡市民にまじって大役を果たしてくれたことは学校としても誇りに思いました。(望月)

桜並木を歩きました! まだまだ歩けます!



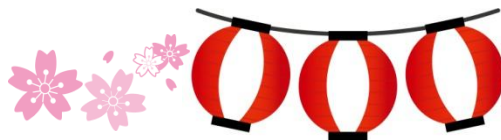
大勢の人の前で歩きました。緊張しましたがとても楽しかったです!!



スタート前にみんなで写真とりました! みんな様になっています。



夜桜乱舞



総勢 40 名で踊りました。

4月2日（土）に行われた夜桜乱舞に参加してきました。前日まで雨が心配されていましたが、当日は天気恵まれ予定されていた時間まで踊ることができました。この日を楽しく踊ることができるよう3月から毎週土曜日学校のホールで練習してきました。いつも学校のホールで踊っていたので、道路の真ん中で踊ることは学生にとって開放感たっぷりだったに違いありません。当日は



3時間という長丁場だったにも関わらず、学生たちの顔は笑顔であふれていました。「楽しかった。また踊りたいです!」と言ってくれた学生のキラキラした目がとても印象的でした。(川勝)



練習の成果が発揮されました！
ポーズも決まっています！



職員もがんばりました！

4月生来日



2016年度の4月生が来日し始めています。学生たちは一通りの手続きを終えた後、日本と学校のルールを学ぶためオリエンテーションを受けました。メモを取りながら、またわからないところは先輩に訳してもらいながら真剣に聞いていました。

その後はプレイスメントテストを受けました。テストは筆記と会話の2つで、このテストの結果をもとにそれぞれの学力到達度に適したクラスに振り分けていきます。

新たな土地での生活、そして4月11日から授業が始まりました。初めてづくしで慣れないことも多く大変だとは思いますが、目標を見失わず一日一日を大切にすごしてほしいと思います。

職員が身振り手振りを交えながら説明しました。新入生もしっかり聞いていました！

あなたのクラスはここですよ～！



私のクラスはどこかな～？

写真をとって教室と時間を忘れないようにしなくちゃ！



退職のご挨拶



初めて教壇に立ったのは1996年4月のことでした。あれからちょうど20年、主婦で全く未経験だった私がこんなに長く勤め続けられるとは、正直思っておりませんでした。今回、わがまを申しまして少々早めの定年退職をさせていただきます。

学生の皆さん、たくさんの思い出をありがとう。共に笑い泣き感動し、歌い踊り、時には対立し叱ったこともありました。互いに学び合う充実感と皆さんの成長を感じられる喜びを味わうこともできました。ことば学院での一日一日を大切に過ごしてください。皆さんの明るい未来を信じ、成功と健康を祈っています。

教職員の皆さん、至らぬ私を支えてくれて感謝しています。皆さんに最後に寄せてもらったメッセージに、最初の面接の時のエピソード、日本語教師養成講座のこと、一緒に担当したクラス、相談にのったこと、厳しかった言動、と私自身が忘れていたことが数多くありました。皆さんと過ごした日々が私の財産、私の人生であることを改めて実感しました。これからのことば学院をよろしくお願いいたします。

最後に本校を支えてくださっている皆様にお礼を申し上げます。学生を紹介くださる方、日本のお父さんお母さんとして学生を温かく包んでくださる方、様々な交流イベントを提案してくださる方、地域の輪に入れてくださる方、進学先の各校、奨学会への寄付という形で支援してくださる方、世界各国で活躍している卒業生、『国際ことば学院』というブランドは皆様のお力で作り上げられてきました。今後とも、国際ことば学院日本語学校に皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ありがとうございました。

渡邊真理



平成28年度4月生入学式のお知らせ

○入学式

日時：平成28年4月23日（土）

11:00～11:45

場所：国際ことば学院外国語専門学校 3F

○対面式・懇親会

時間：12:00～13:30

場所：日本語学校教室



ご寄付ありがとうございます

小鍋 義弘様
はっとりテント様

食器類
寝具類



新入生のために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

＜編集後記＞桜の開花宣言が少し遅れていた静岡でしたが、桜が咲き始め各所で花見を楽しめるほどになっています。新入生達からも「桜はどこですか」とよく聞かれます。新年度が始まったので桜から元気をもらい、新たな気持ちで仕事に臨みたいとおもいます。（川勝）